

# せおと

岡崎市立常磐小学校

令和三年一月二十九日

## 自慢のはなはなさん

本校には、特別支援学級（はなはな組）が三クラスあります。どのクラスも、生きる力を育てるために大切な学習をしています。

まず、はなはなは一組には、三人が在籍しています。三人の学年は違っていますが、一緒に道徳の授業をして、互いの考えを交流し合い、違う見方を認め合って学習をしています。

また、自分のことは自分でできるように練習しているわけですが、困ったことがあれば、周りの人に助けを求める力も必要です。これは誰にでも言えることです。担任の先生は「困ったときはそばにいる友達に助けてもらおう」と指導しているそうです。一年生の子はそれを覚えていて、朝、窓のカーテンが開けられなかったときに、五年生の子に「助けてください」と頼んだそうです。それからは何も言わなくても二人で協力して窓開けをしているとのこと。学級のリーダー的存在である六年生の子は、自分の行動や気持ちを振り返って見ることができるようになりました。大人でもなかなかできることはありません。



【8月 道徳の授業】

次に、はなはな三組です。六年生の子は、いつも担任の先生と体力的競争をしています。先日は、教室内に運動会と称するコースを自分で考え、タイムを計っていました。コース上には縄をまたいだりボールをついたりするポイントが置かれていました。これを見たとき、昨年度担任だった先生が体育館にコースを作って回り、体を動かす工夫をしていたのを思い出しました。その体験を覚えていたのでしようか。さて、この日の計測結果は、39秒。ちなみに先生は40秒でした。

そして、はなはな二組の四年生の子は言語訓練をがんばっています。毎朝職員室に来て「おはようございます」と挨拶をします。これまでは一音ごとに区切っていました。最近言葉としてつなげて発声できるようになってきました。担任の先生はアプリを活用したりパペットを利用したりして、学習を工夫しています。

人には誰でも苦手なことがあります。それを認め合い、困ったときには周りの人に声をかけることで、解決への道が生まれます。根気よく練習したり学んだことを生かしたりすれば、できるようになっていきます。この基本を実践しているはなはな組は、本校の自慢であり誇りです。

はなはな一組の「朝のひとこと」を紹介するよ。

・百人一首で坂本先生が見つけたら、

大きく目をあけて「はい」と言って、おもしろかったです。

・みんなでカルタをしました。二かい十二まいとれてうれしかったです。

・百人一首で二十一まいとれてうれしかったです。ほりすすみはんがで

牛をほるところまでいきました。

